

## 昭和の森カタクリ特別観察会

### 春風に揺れるカタクリの観察

藤田 隆（松戸市）

日 時：2023年3月27日（月）10時～15時 天気：曇り

場 所：昭和の森

参加者：195名（大人163名、子ども32名）

担当指導員：武田、長江、藤田

土、日と続いた雨が上がった27日月曜日の朝、10時の気温は15度と、双眼鏡で覗いてカタクリが開いているのが分かる程度の開花率でした。「少し寂しいかな」と指導員同士でささやいていました。

指導員はカタクリの群生地で、開花のご案内を務めました。この日、仕掛けを二つ用意しました。菖蒲田に隣接する田んぼに生息するカワニナ、タニシ、ニホンアカガエルの卵塊、オタマジャクシ、メダカを採取して観察用としました。

春休み期間中の子どもたちが連れ立って通り、観察バットを眺め、次にカタクリ展示の様子を見て、カタクリの見える土手に渡ってくれるよう仕掛けました。すると、子どもばかりか大人もじっと見て、あれこれと質問を投げてくださいました。

日が射してくると気温も上がり、18度を超えました。急に通る人も増え、11時を過ぎには70人を突破しました。

「初めて見ました」、「いつも楽しみにしている」と感想を述べる人がいる一方で、「毎年見ているがカタクリが少なくなったね」と本数の減少を嘆いている方もいました。

今年は園路の脇の斜面にも注目してもらおうと趣向を加えました。もう一つの仕掛けです。

シュンランなど植物名を書いた立札を立てていると、オトコヨウゾメ、ツクバキンモンソウ、ホタルカズラ、フデリンドウ、葉脈の色合いが赤味を帯びたアカフタチツボスミレも見つかりました。

参加者もじっと観察し、カタクリのほかに収穫があったようです。



カタクリを見る参加者



キランソウ観察中



開花したカタクリ